

## U01a 粒子の質量と電磁気の質量の統一

小堀しづ

地表に於いて、電子のラブは電磁気数が  $7.028 \times 10^{17}$  個でできている。そしてミューニュートリノの電磁気数は  $1.264 \times 10^{15}$  個である。タウニュートリノの電磁気数は  $7.202 \times 10^{15}$  個である。それなら、ミューニュートリノとタウニュートリノも質量を持っているのではないだろうか。陽子の中のクオークの電磁気数は  $6.249 \times 10^8$  個です。それで、クオークも質量を持っているのではないだろうか。電磁気数が多い粒子は質量を持っているなら、電磁気にも質量が有る事に成る。  $E=mc^2$  と粒子の軌道エネルギー =  $8.665 \times 10^{-24} \text{Jm}$  の式より導かれる式。ラブのエネルギー =  $8.665 \times 10^{-24} \text{Jm} \div \text{軌道}$ 。この式に  $E=mc^2$  を代入する。ラブのエネルギー =  $mc^2 = 8.665 \times 10^{-24} \text{Jm} \div \text{軌道}$ 。  $m = 8.665 \times 10^{-24} \text{Jm} \div \text{軌道} \div c^2 = 8.665 \times 10^{-24} \text{Jm} \div \text{軌道} \div (9 \times 10^{16}) = 9.628 \times 10^{-41} \text{Jm} \div \text{軌道}$ 。  $m = 9.628 \times 10^{-41} \text{Jm} \div \text{軌道}$ 。この式により粒子1個の質量を計算する。

$E=mc^2$  と電磁気の軌道エネルギー =  $1.233 \times 10^{-41} \text{Jm}$  の式より導かれる式。電磁気のエネルギー =  $1.233 \times 10^{-41} \text{Jm} \div \text{軌道}$ 。この式に  $E=mc^2$  を代入する。電磁気のエネルギー =  $mc^2 = 1.233 \times 10^{-41} \text{Jm} \div \text{軌道}$ 。  $m = 1.233 \times 10^{-41} \text{Jm} \div \text{軌道} \div c^2 = 1.233 \times 10^{-41} \text{Jm} \div \text{軌道} \div (9 \times 10^{16}) = 1.370 \times 10^{-58} \text{Jm} \div \text{軌道}$ 。  $m = 1.370 \times 10^{-58} \text{Jm} \div \text{軌道}$ 。この式より電磁気1個の質量を計算する。電磁気1個は1個の粒子です。電子のラブとミューニュートリノとタウニュートリノと各種のクオークの粒子1個の質量と電磁気1個の質量を計算する。(特願 2016 - 003081 と特願 2016 - 026470)